



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <http://www.aseed-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺地 寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務グループ担当 (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,468	17.2	656	44.0	638	50.2	444	58.5
23年3月期第3四半期	22,579	0.4	455	6.7	425	0.2	280	17.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 441百万円 (92.6%) 23年3月期第3四半期 229百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	66.89	—
23年3月期第3四半期	44.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	16,768	4,117	24.6	622.10
23年3月期	13,854	3,577	25.8	564.05

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,117百万円 23年3月期 3,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	10.0	570	32.4	560	42.8	350	53.8	52.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 宝積飲料株式会社、除外 1社 (社名)
(注)詳細は3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,747,624 株	23年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	129,043 株	23年3月期	405,743 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,640,652 株	23年3月期3Q	6,350,544 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、予想に内在する様々な不確定要因や、事業運営における状況変化等によって大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故により大きく落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧や復興需要等により夏場にかけて急速に回復いたしました。しかしながら、欧州債務問題の再燃や円高の進展などの影響から、景気の先行きは再び予断を許さない状況となりました。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機設置のロケーションの飽和や過剰な設置競争が顕在化し、同業者間における取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下等により、業界再編が一段と加速化しております。また、福島第一原発事故を起因とした電力供給不安の広がりに伴い、自販機の使用電力に対する問題（本質的にはアウトドアロケーションにおける自販機の過剰設置）がクローズアップされてきており、自販機産業はこれまでの量的拡大から差別化を重視した質的向上への転換が求められております。

このような状況のなか、当社グループは引き続き各事業における収益性の向上に取り組むとともに、株式交換により子会社化した飲料製造事業を行う宝積飲料株式会社の事業価値向上に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,468百万円（前年同四半期比17.2%増）、営業利益656百万円（同44.0%増）、経常利益638百万円（同50.2%増）、四半期純利益444百万円（同58.5%増）の増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結累計期間より「飲料カードシステム事業」の名称を「飲料サービスシステム事業」に変更するとともに、従来は「自販機運営リテイル事業」に区分しておりました、遊技場等におけるコーヒーサービス（カフェスコ）を「飲料サービスシステム事業」に区分変更いたしました。この変更に伴い、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期を変更後のセグメント区分に組み替えたもので算出しております。

自販機運営リテイル事業

自販機運営リテイル事業においては、飲料販売の最需要期にあたる7月初旬から9月上旬にかけて東京電力株式会社による電気の使用制限を受け、東京電力管内の自販機については前年比25%節電や販売停止等の自主規制を実施した結果、オフィスや工場を中心に厳しい販売状況となりました。このような状況のなか、当社グループでは自販機の過剰設置による環境問題の解消と消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」を重点的に推進し、他社との差別化を図りました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は16,785百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は516百万円（同18.6%増）となりました。

飲料製造事業

アシードブリュー株式会社の宇都宮飲料工場（栃木県）においては、飲料製造の最需要期にあたる7月初旬から9月上旬にかけて東京電力株式会社による大口需要家の電力使用制限（前年比15%節電）に伴う生産調整により、大幅な減産と諸経費の増加を余儀なくされました。しかしながら、新たに子会社となった宝積飲料株式会社の志和工場（広島県）においては、当社グループの自販機設置によるSPA（製造小売）事業の推進の結果、自社ブランド飲料の製造販売が好調に推移するとともに、大手飲料メーカーや各ブランドオーナーからの受託製造も順調に推移し、製造数量は前年同四半期比25.5%増となりました。

この結果、飲料製造事業の売上高は9,201百万円（前年同四半期比90.7%増）、営業利益は277百万円（同160.7%増）の増収増益となりました。

飲料サービスシステム事業（旧飲料カードシステム事業）

パチンコホール等のお客様に対して、自販機のソフト化と、カップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオンズ・カードシステム」につきましては、店舗の広告宣伝メッセージやイベント告知等を刷り込める新カードの販売強化に取り組みました。また、遊技場等のコーヒーサービス（カフェスコ）につきましては、導入店舗の積極的なスクラップ・アンド・ビルドを実施いたしました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は431百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は46百万円（同35.1%減）となりました。

不動産運用事業

広島県福山市内の賃貸駐車場と賃貸収益ビル、山口県周南市及び広島市西区内の賃貸事務所兼倉庫、佐賀県佐賀市内の貸店舗等の稼働がありましたが、これまで賃貸で運用しておりましたアシードブリュー株式会社の宇都宮飲料工場の隣接土地及び建物を飲料製造事業における大型ペットボトル飲料製造設備と製品倉庫に転用した結果、不動産運用事業による売上高は49百万円（前年同四半期比42.0%減）、営業利益は74百万円（同8.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、7,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,767百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加645百万円、受取手形及び売掛金の増加705百万円及び商品及び製品の増加424百万円等によるものです。固定資産は、9,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,146百万円増加いたしました。これは主に宝積飲料株式会社の子会社化による建物及び構築物（純額）の増加468百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加249百万円、土地の増加361百万円、リース資産（純額）の増加348百万円及び建設仮勘定の減少224百万円等によるものです。

この結果、総資産は、16,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,914百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,303百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加792百万円、短期借入金の増加1,195百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加165百万円等によるものです。固定負債は3,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の減少361百万円及びリース債務の増加330百万円等によるものです。

この結果、負債合計は、12,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,374百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益による増加444百万円、株式交換による自己株式の減少に伴う増加165百万円及び剰余金の配当による減少103百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は24.6%（前連結会計年度末は25.8%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、宝積飲料株式会社を子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.7%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.3%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は11,523千円減少し、法人税等調整額は18,227千円増加しております。

また、欠損金の繰越控除制度が平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から繰越控除前の所得の金額の100分の80相当額が控除限度額とされることに伴い、繰延税金資産の金額は27,980千円減少し、法人税等調整額は27,980千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,023,116	1,668,498
受取手形及び売掛金	1,536,624	2,242,213
商品及び製品	952,373	1,376,502
原材料及び貯蔵品	142,942	186,582
前払費用	1,125,016	1,026,890
繰延税金資産	121,228	35,770
その他	536,672	673,518
貸倒引当金	2,963	7,321
流動資産合計	5,435,010	7,202,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	813,693	1,281,694
機械装置及び運搬具(純額)	164,576	414,370
工具、器具及び備品(純額)	15,642	29,711
土地	3,458,478	3,819,750
リース資産(純額)	742,744	1,091,436
建設仮勘定	247,450	22,888
有形固定資産合計	5,442,585	6,659,851
無形固定資産		
のれん	646,662	585,971
リース資産	27,978	35,710
その他	20,379	31,325
無形固定資産合計	695,021	653,007
投資その他の資産		
投資有価証券	438,966	498,277
長期貸付金	35,223	33,965
長期前払費用	1,153,929	1,016,382
繰延税金資産	179,311	144,796
その他	523,351	600,189
貸倒引当金	48,794	40,143
投資その他の資産合計	2,281,987	2,253,467
固定資産合計	8,419,594	9,566,326
資産合計	13,854,605	16,768,982

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,345,904	3,138,698
短期借入金	1,780,000	2,975,000
1年内返済予定の長期借入金	959,098	1,124,574
リース債務	319,656	372,877
未払金	982,849	910,970
未払法人税等	26,485	69,075
未払消費税等	13,610	84,260
繰延税金負債	290	124
賞与引当金	106,656	63,098
その他	632,882	732,214
流動負債合計	7,167,432	9,470,894
固定負債		
長期借入金	2,166,975	1,805,379
リース債務	518,553	848,845
再評価に係る繰延税金負債	47,569	41,564
退職給付引当金	75,485	116,515
役員退職慰労引当金	124,892	166,480
資産除去債務	2,800	2,800
その他	173,742	199,100
固定負債合計	3,110,018	3,180,684
負債合計	10,277,450	12,651,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	976,192	1,012,778
利益剰余金	2,680,991	3,021,401
自己株式	251,351	85,652
株主資本合計	4,204,304	4,746,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,293	82,751
土地再評価差額金	550,566	544,561
為替換算調整勘定	2,290	2,282
その他の包括利益累計額合計	627,150	629,595
純資産合計	3,577,154	4,117,403
負債純資産合計	13,854,605	16,768,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	22,579,677	26,468,170
売上原価	13,827,475	17,395,115
売上総利益	8,752,202	9,073,054
販売費及び一般管理費	8,296,240	8,416,654
営業利益	455,961	656,400
営業外収益		
受取利息	1,807	4,925
受取配当金	4,155	5,664
不動産賃貸料	10,824	8,520
受取賃貸料	15,229	15,190
受取保険金	-	19,764
その他	27,414	37,566
営業外収益合計	59,430	91,632
営業外費用		
支払利息	60,945	76,996
その他	29,356	32,481
営業外費用合計	90,302	109,478
経常利益	425,090	638,553
特別利益		
固定資産売却益	79	24,081
貸倒引当金戻入額	9,491	-
投資有価証券売却益	47	-
負ののれん発生益	5,249	21,622
その他	230	84
特別利益合計	15,097	45,788
特別損失		
固定資産売却損	3,767	-
固定資産除却損	865	11,701
減損損失	43,396	1,186
投資有価証券売却損	11	-
役員退職慰労金	-	7,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,702	-
災害による損失	-	3,720
特別損失合計	54,743	23,608
税金等調整前四半期純利益	385,444	660,734
法人税、住民税及び事業税	50,916	93,986
法人税等調整額	54,240	122,525
法人税等合計	105,156	216,512
少数株主損益調整前四半期純利益	280,288	444,221
四半期純利益	280,288	444,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	280,288	444,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,978	8,457
土地再評価差額金	-	6,005
為替換算調整勘定	904	7
その他の包括利益合計	50,883	2,445
四半期包括利益	229,404	441,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,404	441,776

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,180,133	4,824,974	489,082	85,488	22,579,677	-	22,579,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,826	390,182	3,134	71,882	545,025	545,025	-
計	17,259,959	5,215,156	492,216	157,370	23,124,703	545,025	22,579,677
セグメント利益	435,763	106,336	71,563	81,289	694,953	238,991	455,961

(注)1. セグメント利益の調整額 238,991千円には、セグメント間取引消去30,929千円、のれんの償却額 7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 262,398千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,785,720	9,201,089	431,761	49,599	26,468,170	-	26,468,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,975	521,780	3,403	116,671	722,830	722,830	-
計	16,866,695	9,722,869	435,164	166,270	27,191,001	722,830	26,468,170
セグメント利益	516,925	277,249	46,453	74,731	915,359	258,959	656,400

(注)1. セグメント利益の調整額 258,959千円には、セグメント間取引消去18,575千円、のれんの償却額 7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 270,012千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、従来「自販機運営リテイル事業」に区分していたコーヒーサービス(カフェスコ)については経営管理単位の見直しを行い、セグメント区分との整合性を図るため従来の「飲料カードシステム事業」に含めることとし、セグメントの名称を「飲料サービスシステム事業」に変更いたしました。

これにより、前第3四半期連結累計期間の「自販機運営リテイル事業」と「飲料サービスシステム事業」の売上高及びセグメント利益は当該変更が前年同四半期に行われたものとして組み替えて表示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年4月1日付をもって、宝積飲料株式会社の全株式を株式交換により取得し新たに子会社としたため、連結の範囲に含めております。この結果、資本剰余金が36,585千円増加、利益剰余金が21,622千円増加及び自己株式の割当てに伴う増加が194,518千円発生し、株主資本全体で252,726千円増加しております。